

御声援ありがとうございました



芸北教育

芸 北 分 校
広 島 県 立 加 計 高 等 学 校

283号
平成 30 年
～8月～

芸分野球部完全燃焼

芸北分校野球部が2回戦で強豪盈進高校と対戦しました。試合は序盤から緊迫した展開。2点を先制されたものの、6回表に反撃し1対2の大接戦。

後半は力尽き1対8と悔しい結果となりましたが、8名の3年生を中心に全校生徒、地域が一体となった悔いのない試合ができました。選手諸君の健闘を称えらるとともに、たくさんの御声援を頂きました。皆様にお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

全国から入学できます！
女子下宿、男子寮完備。町より月一万円
の補助制度あり。見学随時可能。
(電話)〇八二六・三五・〇七二六

選手インタビュー

主将の小川海希都君

主将としてチーム全体の行動に責任を持つことで、人間的に成長できました。後輩に伝えたいことは、

野球部員である前に「芸分魂」を身に付けた芸分生になることがプレーにもつながるといいます。

エースの上前龍生君

自分はエースとして引

つ張ってきましたがチームを勝たせることができませんでした。悔しい思いはあ



りましたが最後まで仲間を信じて笑顔でグラウンドに立つことができました。

香港学生との国際交流

7月27日(金) 香港專業教育學院で専門知識を学んでいる学生17名と交流を行いました。英語での学校紹介・文化の紹介では思わず笑いが起こるなど明るい雰囲気で行われました。

都会育ちの学生たちは自然豊かな小規模校の教育内容に興味津々で、特に学校で栽培している「ミニトマト」の



取り試食体験」や「神楽衣装試着体験」で大いに盛り上がりました。

また、大暮養魚場での「川魚つかみ取り体験&ランチ」では童心にかえったような明るい歓声がこだましていました。



参加生徒の声から

香港の学生とのコミュニケーションは知っている単語を絞り出しながら楽しくできましたが、プレゼンテーションの専門的な内容には対応できませんでした。本気で英語を勉強して話せるようになりたいと思いました。

田舎留学 ↓ 海外留学

2年生の松

島諒君が1年

間のアメリカ

留学（ウイス

コンシン州）

に旅立ちます。松島君は田舎

留学（芸北）を経験したこと

で「街からの視点」に加えて

「田舎からの視点」という新

たな刺激に触れました。次は



「海外からの視点」を身に付けることでまだ見えていない新たな発見をしたいと高い志を持って旅立ちます。多くのことを学び地域や学校に持ち帰ってください。



サマーセミナー in 芸北

夏休み恒例のサマーセミナーを芸北中学校3年生と合同で実施しました。今年度は芸北分校の卒業生で芸北地域に

おいて活躍している先輩方に多数参加して頂き、専門分野の講義とともに地域社会の今後や芸北分校の未来について熱く語って頂きました。また、新たな試みとして大学や専門学校と連携して、体験授業ガイドランスを実施し、生徒の「学ぶ意欲」進路意識の向上につながりました。

最終日は中央大学大学院ビ



ジネススクールの**露木恵美子**先生により、「芸北分校の未来像」について参加者全員がワールドカフェ形式で議論を深めました。芸分での学びが自分をどう成長させてくれたのか今後深化させるためには何が必要なのか一つの「答え」を見つけます。



ビッググラフィックサポート授業

日本政策金融公庫国民生活事業本部から**薬師寺真様**を講師としてお招きし特別講義を実施しました。

アイデアを実際のプランとしてつなげていく過程において、アイデアを整理することやデータ活用の重要性などを学びました。

生徒の中には、これまで授業で学んだことや、地域未来



会議で議論した内容と関連付けて意見を発表するなど、昨年より「深い学びの場」となっていました。

〈巻末エッセイ「げいほくらし」〉

「田舎留学」→「海外留学」

廿日市市から「田舎留学」を志し、芸北分校に入学した2年生の松島諒君がアメリカ合衆国ウイスコンシン州のローディーハイスクールに1年間の「海外留学」へ旅立ちます。

初対面の印象としてなんとなく「キャシヤ」で「あどけなさ」が残る外見とは違い、「自分を変えたい」「将来でっかいことをやりたい」という言葉になんとなくアンバランスさを感じたのを思い出す。

そんな彼から、「雄大で時に厳しい自然環境の田舎暮らしで、自信が生まれ、世界を見てみたい。体感したいと思うようになり、今しかない」と決意しました」と熱い想いを聞きました。

まさに、「芸北教育」「げいほくらし」の真髓を実践してくれています。

(のポール小僧)